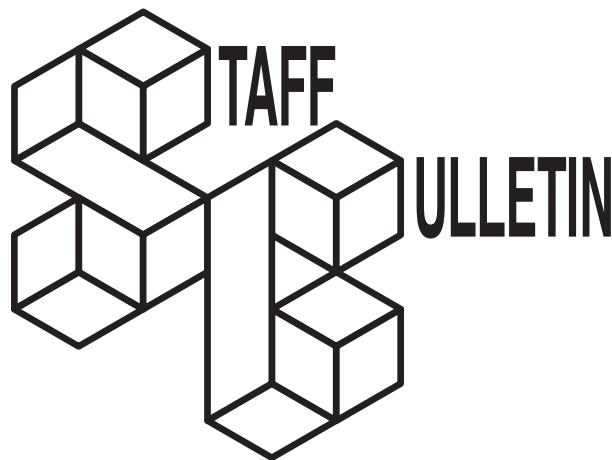


UNIVERSITY OF TSUKUBA

07 2003

筑波大学広報・公開室編集
企画調査室発行
平成15年4月9日
通巻1053号

速報つくば



平成14年度卒業式・学位記授与式



卒業生と握手する北原学長

平成14年度の学群・理療科教員養成施設の卒業式が3月25日(月)10:00から、大学院学位記授与式が同日13:35から、それぞれ大学会館講堂で行われました。卒業生数は、学群2,006人、理療科教員養成施設24人、大学院学位記授与者数は、博士課程298人(論文博士50人を含む)、修士課程923人、博士課程修士184人でした。併せて、修学・研究活動や課外活動において優秀な成果・成績を修めた者等を対象とする学生表彰が行われ、北原学長から学群学生5人、大学院学生6人に賞状と記念品が贈られました。

知的コミュニティ基盤研究センター開所記念シンポジウムが開催される

知的コミュニティ基盤研究センターでは、知的コミュニティ基盤研究センター開所記念シンポジウム「インターネットとコミュニティ」を、3月17日(月)春日キャンパス情報メディアユニオン2階メディアホールにおいて開催しました。

開会にあたって、北原保雄学長、石井啓豊センター長の挨拶があり、小山晴己文部科学省学術機関課課長補佐から祝辞をいただきました。

続いて、東京大学大学院情報学環助教授水越伸先生の基調講演「メディア・ピオトープ試論：新しいメディア共

同体のデザイン」が行われ、メディアについて考える際に、情報技術に軸足を置いたテクノ・メディア論と社会に軸足を置いたソシオ・メディア論という二つの視点が必要であること、テクノ・メディア論と比較して蓄積の少ないソシオ・メディア論の実践として、小規模コミュニティにおける情報発信やメディア・リテラシーの推進などが考えられること、など具体例を交えながらのお話がありました。

続いて「インターネットとコミュニティ」をテーマとしてパネルディスカッションが行われました。NPO法人地域資料デジタル化研究会理事長小林是綱氏、(財)京都高度技術研究所部長星野寛氏、日本アイ・ピー・エム(株)東京基礎研究所主任研究員野美山浩氏、本学図書館情報学系溝上智恵子教授をパネリストとし、本センター杉本重雄教授をコーディネーターとして、インターネットとコミュニティとの関係について、情報技術、政策、教育等の観点からとらえた現状の紹介や課題の指摘、それらに対する議論が行われました。

100名を超える参加があり、会場出席者などからの質疑応答を交えて活発に討議が行われ、盛況のうちに終了しました。

また、引き続き開かれた懇親会でも参加者によるなごやかな交流が行われました。



シンポジウムの様子

腰塚武志教授（社会工学系）が日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞を受賞

腰塚武志教授（社会工学系）は日本オペレーションズ・リサーチ学会の第4回業績賞を受賞しました。この賞は3年前に制定されたもので満40歳以上60歳以下の会員が対象となっています。受賞理由は「オペレーションズ・リサーチの永年に亘る研究・教育・普及活動のすべてにおいて顕著な業績を積み重ねた」ことによります。授賞式は3月19日（水）慶応義塾大学理工学部における同学会春季研究発表会の席上で行われました。



志賀和人助教授（農林学系）が林業経済学会賞を受賞



志賀和人助教授（農林学系）は、『民有林の生産構造と森林組合』（単著）志賀和人・成田雅美編著『現代日本の森林管理問題』を対象業績に第1回林業経済学会賞を受賞しました。同賞は、林業経済学に関し画期的な業績によって特に貴重な学術的貢献をなしたと認められた会員を対象とするもので、表彰式は3月30日（日）に岩手大学で開催された同学会総会で行われました。

新保史生助教授（図書館情報学系）が電気通信普及財団賞奨励賞を受賞

新保史生助教授（図書館情報学系）は、著書『電子ネットワークと個人情報保護』により、第18回電気通信普及財団賞のテレコム社会科学賞奨励賞を受賞しました。同賞は、電気通信についての社会科学的又は工学技術的観点からの優れた著作や研究論文を表彰する賞です。受賞となった著書は、個人情報保護に関する現代的課題について、電子ネットワークとの関係にも配慮しつつ、網羅的、体系的に概観した作品であり、プライバシー問題にも鳥瞰的な展望を与えており、時宜を得た大著であるとして高く評価されました。

授賞式は、3月17日（月）メルパルクホールにおいて

開催され、賞状と賞金が授与されました。

高橋伸夫教授（地球科学系）が日仏地理学会会長に就任



高橋伸夫教授（地球科学系）が、3月30日（日）に東京大学で開催された日仏地理学会総会において日仏地理学会会長に選出されました。日仏地理学会はフランスと日本の地理学者が中心となって昭和50年10月に設立され、日仏の地理学の交流と協力を促進し、地理学の発展に寄与することを目的として活動している学会です。なお、高橋教授は本年3月をもって定年退官いたしました。

船木一幸講師（機能工学系）指導下の工学システム学類4年次朝日龍介氏が、2002年度衝撃波シンポジウムにて優秀ポスターアワードを受賞



この賞は、平成15年3月13日～15日、群馬大学工学部にて開催された衝撃波研究会主催の同シンポジウムにおける特に優れた発表に授与され、その功績を讃えるものです。

受賞論文題目は「プラズマセイルの推進原理に関する研究」であり、宇宙空間を太陽風を受けて高速で移動する全く新しいタイプの宇宙推進システムについての提案と解析を行い、その実現可能性を明らかにしました。

組織名の英訳について

- 企画調査室 -

このことについて、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。

筑波大学外国人留学生後援会

University of Tsukuba Support Association for International Students

学際物質科学研究センター

Tsukuba Research Center for Interdisciplinary Materials Science

比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト研究組織

Special Research Project on Civil Society, the States and Culture in Comparative Perspective

筑波大学附属病院医療福祉支援センター

Medical Social Service

筑波大、産総研、物材機構の3機関で「研究交流の推進に係る協議会」を開催

『共同研究等の推進に係る協定書』について合意

筑波大学、独立行政法人産業技術総合研究所及び独立行政法人物質・材料研究機構は、3月26日に研究交流の推進に係る定期協議会を開催し、3機関連名の「共同研究等の推進に係る協定書」の締結について合意しました。この協定書は、昨年3月に3機関間で締結した「研究交流の推進に係る協定」(いわゆる包括協定)に規定する「共同研究等の研究協力を推進するために必要な体制の整備」の一環として、実務者レベルで検討されてきたもので、それぞれの機関内手続きを経て、4月1日から実施されることとなりました。

この協議会には、産総研の平石次郎副理事長、物材機構の齋藤鐵哉理事、本学の高木英明副学長をはじめとし、各機関の産学連携部門の関係者が参加し、上記の協定書のほか、人事交流、TLOの連携、今後の定期協議会の開催計画等について、協議しました。

今後の海外渡航について 研究協力部国際交流課

新聞報道によりますと、WHO(国連世界保健機関)は、4月2日(水)にSARS(Severe Acute Respiratory Syndrome 重症急性呼吸器症候群)の感染中心地とされる中国・広東省及び香港への渡航を延期するよう異例の勧告を出しました。

今後の海外渡航については、外務省の海外安全ホームページ(<http://www.pubanzen.mofa.go.jp>)のみならず厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp>)など、SARSの最新情報を含め渡航国に関する適確な情報収集に努め、これまで同様、十分注意されるようお願いいたします。

WHOによりますと、4月1日現在で感染者は中国、香港、シンガポール、ベトナム、台湾、タイ、米国、カナダ、ドイツなど17の国々で1,804名報告されており、死者は62名となっています。

アイソトープセンターから初心者(新規)講習会【放射線業務従事者講習会(第86回)】のお知らせ

新たに放射線を取り扱う予定の教職員・学生等に対する法定の講習(教育・訓練)を次のとおり行います。なお、学生には掲示をしますが、指導教官におかれましても研究等を予定している学生に対し周知方お願いします。

日時：4月30日(水)9:00～14:50(講義)

4月30日(水)14:50～受付開始(特別健康診断)

5月1日(木)、2日(金)8:50～17:00(実習)

実習については、どちらかの半日となります。

場所：大学会館国際会議室(講義)

保健管理センター(特別健康診断)

アイソトープセンター(実習)

定員：120名(先着順締切)

申込：4月21日(月)～4月24日(木)までに印鑑持参の上、アイソトープセンター事務室に受講者本人が直接申し込んでください。

(用紙はアイソトープセンター事務室にあります。)

分析センターから共同利用登録申請のお知らせ

平成15年度共同利用希望者の分析機器利用登録申請の受付を行っています。継続登録の方も申請手続きが必要ですので、センター事務室窓口にある申請書に記入の上、5月23日(金)までに提出願います。

なお、共同利用者については講習会等によって資格を得た人のみに許可されますので、必ず受講してください。講習会の開催日については、登録の際にセンター事務室窓口(内線2503)へお問い合わせください。

共済組合係からのお知らせ

文部科学省共済組合共済積立貯金の募集

平成15年度における共済積立貯金(4月期)の新規加入及び積立金額変更の募集を下記のとおり実施いたします。詳細については別途パンフレットを配布いたしますのでご覧ください。

記

加入資格	共済組合員
積立種類	定期積立:1,000円単位で給与から控除 臨時積立:1,000円単位で6月・12月の期末・勤労手当から控除 臨時積立のみの申込はできません。
申込期間	平成15年4月1日(火) ～平成15年4月21日(月)
申込手続	「貯金加入申込書」「積立金変更申込書」に必要事項を記入し、捺印のうえ、各共済組合事務担当係に提出してください。
控除開始	平成15年6月俸給
その他	既にお知らせしましたように、15年度より期末手当等からも、長期・短期掛金を徴収されることになりましたので、「臨時積立額」が控除できぬことがないようにご注意ください。
問合せ先	各部局等の共済組合事務担当係、又は経理課共済組合係(内2152)

文部科学省共済組合団体積立終身保険の募集

平成15年度における団体積立終身保険(4月期)の新規加入及び積立金額変更の募集を下記のとおり実施いた

します。詳細については別途パンフレットを配布いたしますのでご覧ください。

記

加入資格

A コース（個人年金保険料控除適用）

- ・退職まで積立期間が10年以上ある共済組合員

B コース（生命保険料控除適用）

- ・退職まで積立期間が2年以上ある共済組合員

積立金額 月払掛金：1口2,000円で給与から控除
(最低1口～最高500口)

半年払掛金：1口10,000円で6月・12月の期
末・勤勉手当から控除
(最低1口～最高200口)

* 半年払のみの申込はできません。

申込期間 平成15年4月1日(火)

～平成15年4月21日(月)

申込手続 「加入(変更・復活)申込書」に必要事項を記入し、捺印のうえ、各共済組合事務担当係に提出してください。

控除開始 半年払：平成15年6月期末・勤勉手当

月 払：平成15年7月俸給

その他 既にお知らせしましたように、15年度より期末手当等からも、長期・短期掛金が徴収されることになりましたので、「半年払掛金額」が控除できぬことがないようにご注意願います。

問合せ先 各部局等の共済組合事務担当係、又は経理課
共済組合係(内2152)

共済積立貯金及び団体積立終身保険の

「払いもどし・解約請求書」等の提出期限について
共済積立貯金の「払いもどし・解約請求書」等及び団体積立終身保険の「脱退通知兼一時金請求書」等の提出期限は毎月末日までとなっていますが、平成15年5月に入金を希望される方は、祝休日の日程上、平成15年4月21日(月)までに必要書類を人事課福利厚生室共済組合係に提出してください。

共済組合掛金率の変更について

既に「文部科学共済広報(15.3.17号外)」及び「広報誌KKR(第693, 694号)」の配付によりお知らせしておりますが、平成15年4月1日より共済組合掛金率が下記の通り変更となります。

(千分率)

	短期	介護	長期	特別
変更後	29.62	3.0	71.90	廃止
変更前	40.50	3.6	91.95	5.0

なお、標準報酬月額及び期末手当等の額に上記の変更後の掛金率を乗じて掛金を徴収いたします。

被扶養者の認定取消の手続きについて

組合員の被扶養者が就職などで、次にあてはまるときは、事実発生日以降30日以内に組合員証と「被扶養者申告書」及び必要書類を添えて、所属の共済組合事務担当係まで速やかに提出してください。

就職した場合

- ・辞令又は保険証の写し

パートやアルバイトなどで年間所得が130万円(年金受給者は年額180万円)を越える場合

- ・給与証明書又は年金証書若しくは年金改定通知書の写し

この手続きを怠り、被扶養者としての資格を失った後に診療を受けた場合は、その療養費を共済組合へ返還することになります。

平成15年度筑波地区職員レクリエーション共同行事実施計画について

平成15年度の筑波地区職員レクリエーション共同行事が次のとおり計画されましたので、奮ってご参加ください。各行事の詳細は、その都度お知らせします。

実施月	共同行事等	備考
4	スポーツ施設 [ジョイフルアスレティッククラブ]利用補助	～3月
5	ソフトボール大会	
6		
7	プール利用補助 【砂沼サンビーチ】 【土浦水郷プール】 スポーツ観戦【Jリーグ】 卓球大会	～8月
8	東京ディズニーランド観光補助 観劇【ミュージカル】	
9	キックベースボール大会	
10	観劇【歌舞伎】	
11	文化作品展 ソフトバレーボール大会	
12	綱引き大会	
1		
2	スポーツ観戦【大相撲トーナメント】	
3		

担当：総務部人事課福利厚生室福祉第一係(2055/2062)

職員サークル活動に対する経費の一部補助について

福利厚生事業の一環として、職員のサークル活動に対して、活動経費の一部補助を実施しています。

次の要件を満たすサークルが対象となりますので、補助を希望するサークルの代表者は、5月9日(金)までに、必要書類を人事課福利厚生室福祉第一係(内線2055,2062)

に提出してください。

- 補助の要件：1 活動内容が健全なスポーツ・娯楽・趣味等であること。
2 活動が継続的・定期的に行われること。
3 誰でも加入できるような性格のサークルであること。
4 経費の大部分が部員による経費で運営されていること。
5 部員数は原則として15名以上であること。

- 提出書類：1 平成14年度サークル活動状況
2 平成15年度サークル活動計画書(案)
3 平成15年度サークル予算(案)
4 平成15年度サークル構成員名簿(5/1現在)

つくばスポーツ探検隊を開催



筑波大学各運動部の活動を通して、つくば市民にスポーツを楽しんでもらおうと「つくばスポーツ探検隊」が、3月30日、筑波大学、豊里庁舎グラウンド及び桜総合体育館で行われました。

つくば市、筑波大学、つくば市体育協会が主催し、日本スポーツ振興会、つくば市サッカー協会が後援したこの「つくばスポーツ探検隊」は、大学とつくば市の連携によるスポーツ振興に向けた初めての具体的な試みでした。

当日は、体操、バスケット、剣道、野球、フラッグフットボール等つくば市民を対象とした複数種目を実際に体験するコースが設定され、個々のスポーツを楽しむ多くの市民の姿が見られました。

また、スポーツを見て楽しむという企画では、バレーボールの試合観戦や野球、剣道の運動部の練習見学会も行われました。

当日の参加者は、親子連れや中学生などのつくば市民200人でした。大学スタッフや大学生、大学院生の指導のもとで各々が体験する運動に笑顔でチャレンジし、心地よい汗を流しました。

これら体験や見学のイベント後、夕刻からは筑波大学体芸中央棟において、つくば市長を招いて、つくば市のス

ポーツ振興に向けたパネルディスカッションが実施されました。パネルでは、スポーツを通したつくば市と大学の現在までのスポーツ振興に関する具体的な取り組みが紹介されるとともに、今後の連携について、将来に向けた活発で有益な意見交換が行われました。

東京商工会議所会員のための見学・交流会を開催



東京リエゾンオフィスの企画により、3月26日(水)13:20からTARAセンター2Fセミナー室において、会員15名が参加して開催されました。東京商工会議所は、産学、企業間における技術移転の円滑化を目指して、「東商テクノネット事業活動」を行っています。本学としても、産学連携による技術移転事業を積極的に推進していることもあり、このような交流会を通じ、本学から生まれた研究成果を活用しての新事業創出に結びつくことを願って開催したものです。

谷田貝豊彦産学リエゾン共同研究センター長から「筑波大学の産学連携の取り組みについて」の説明、基礎医学系高橋智教授から「遺伝子改変マウスについて」、生物系特定産業技術研究推進機構岡田公太郎研究員から「昆虫に学ぶ：環境情報処理と行動制御機構」、応用生物化学系野村暢彦講師から「微生物の多様性とその利用について」それぞれ研究・技術シーズの紹介、基礎医学系本橋ほづみ講師から「TARAセンター実験室」の見学、意見交換が行われた。参加者から、具体の相談ができる研究者が見つかった、パイオ関係の実験室の実態を見ることができ有意義との意見がありました。

第5回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会のご案内

知的コミュニティ基盤研究センターでは、図書館情報学分野に関する研究談話会を開催いたします。

事前の申し込みは必要ありません。学生、教員、学内外を問わずどなたでも参加できます。

日時：4月30日(水)16:00～17:00

場所：春日キャンパス

情報メディアユニオン3階共同研究会議室1

講演者：中山伸一教授
(知的コミュニティ基盤研究センター)
話題：情報化学を考える
概要：応用情報学の一つである「情報化学」の日本における研究およびその“知的コミュニティ”の歴史の変遷を概観することにより、その現状を考え、今後を展望する。これをもとに情報学や応用情報学という学問のあり方について議論していただきます。
参加資格：参加費無料。事前の申し込みは必要ありません。学生、教員、学内外を問わずどなたでも参加できます。
問合せ先：知的コミュニティ基盤研究センター事務局
電話：1511
E-mail：kc-office@slis.tsukuba.ac.jp

陸域環境研究センター談話会のお知らせ

陸域環境研究センターでは地球環境に関する研究をされている研究者をお招きして不定期に談話会を催しております。今回は4月に行われる2回の談話会のご案内です。どなたでも自由にご参加いただけます。どうぞ気軽にお越し下さい。

談話会

日時：4月22日(火)
場所：陸域環境研究センター会議室
1. 実験観察会(16:30～)
オウムガイの殻の閉管路における運搬・堆積実験
2. 講演会(17:30～19:00)
講演者：和仁良二(国立科学博物館)
題目：アンモナイトの化石分布域は

“真の”生息域を表しているのか？
～流水路実験からのアプローチ～

太古の時代に海洋で大繁栄していたアンモナイト。アンモナイトの死後、殻は海底をどのように運搬されて堆積したのだろうか。講演者は殻の破損パターンから殻を壊した要因が読みとれることを、殻の形が似ている現生のオウムガイを用いたアナログ実験によってすでに明らかにした。

しかし、殻が壊れていない化石については運搬過程が読めないでいる。そこで、陸域環境研究センターの閉管路(幅30センチ、深さ40センチ、長さ16メートル)にオウムガイの殻を流して、その流され方を観察中である。
ウェブページ：http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/new/Whatsnew/seminar03_2.html

談話会

日時：4月25日(金)17:30～19:00
場所：陸域環境研究センター会議室
講演者：小白井 亮一
(国土地理院 地理地殻活動センター
地理情報解析研究室)

講演題目：「測量法の改正について」
- 世界測地系の導入 -
昨年4月に改正測量法が施行され、位置の基準として世界測地系が用いられるようになった。講演では、従来の基準であった日本測地系とその問題点、及び改正測量法の内容について概説する。
ウェブページ：http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/new/Whatsnew/seminar03_3.html
問い合わせ先：陸域環境研究センター 事務局
電話：2532
E-mail：jimu@suiri.tsukuba.ac.jp

第98回つくばブレインサイエンス・セミナー(4月定例会)

日時：平成15年4月15日(火)18:00より
場所：医学専門学群棟 臨床講義室(A)
演題：「顔とコミュニケーション」
河村 満 (昭和大学・医学部)
このセミナーは、医科学研究科(修士課程)および同医学研究科(博士課程)との共催セミナーです。また、新年度を迎えるにあたり、2003年度総会を開催したいと存じますので、ご出席いただきたくお願い申し上げます。
2003年度総会は第98回TBSAセミナー終了後に行いたいと存じます。
ぜひご参加下さい。

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回(通巻1054号)の発行は4月23日(水)、原稿締切りは4月17日(木)となります。
「速報つくば」への寄稿に際しましては、一行25文字(英字・数字は半角)で原稿作成し、できるだけ電子ファイル等で寄稿してください。
学内行事、イベント情報、教職員サークル活動などの記事も募集しています。
なお、お寄せ頂いた原稿は、Web上でPDFにして掲載しますので、ご了承願います。また、「速報つくば」のPDF版は、次のアドレスでご覧になれます。
<http://www.tsukuba.ac.jp/aboutus/booklets/index.html>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は大学広報課(TEL2041, FAX2014)へお願いします。
e-mail：sokuho@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
メールで寄稿なされた際は、「速報つくば」より原稿受付の返信メールを配信いたしますのでご確認ください。原稿受付の返信メールがない場合は、お手数でも大学広報課までご連絡いただきますようお願いいたします。